色ニ變ズ

argutus. apiculatus apenninus angustifolius arcuatus anomalus. americanus. alternifolius L. ノ學名ヲ充用シ來リシガ是レ非ニシテ宜シク Gossypium Nanking Mexen. ノ學名ヲ適用セザルベカラズ而 第百六代後陽成帝ノ朝文錄年間ノ渡來以後廣ク我邦諸州ニ栽培スルわた(草綿)ニハ通常 Gossypium herbaceum 〇かたノ學名 亞米利加 尖リタル、鋭鋸齒アル 次序ナキ、 狭キ葉ヲ有スル 互生葉ヲ有 弓狀ニ曲リタル 小尖頭アル アペナイン山(以太利) 不齊ノ、常例ニ合ハザル ス w

armatus

arvensis

asiaticus

asphodeloides asper, aspera

粗糙

ater, atra, atrum. 糙澁ノ、 Asphodelus(ゆり科植物)ニ類似セ

jν

artemisiaefolius

よもぎ屬(Artemisia)ノ如キ葉ア 刺針ヲ備フル

防禦装置ア

原野ニ生ズル

亞細亞ノ

暗黑色ノ 南方ノ、

南半球ノ

australis.

野

牧

富 太

郎

わたハー年生ノ草本ニシテ枝椏ハ紫色ヲ帶ビ葉ハ底部略ボ心臓形ヲナシ葉面ノ中部マデ三乃至五ノ裂片ニ分レ 裂片へ卵狀長橢圓形ヲ呈シ主脈三條ニハ下部ニ腺アリ花下ノ苞ハ大ニシテ約ソ花冠ノ半長アリ紫色ヲ呈シ基部 シテ Gossypium herbaceum L. ハ全ク之レト相異リタル一種ニ屬セリ

合體ス上部銳尖頭ヲナシ且ツ三乃至四ノ尖齒アリ花冠ハ黃色ニシテ花爪ハ深紫色ヲ呈シ花瓣 ハ回旋シ老 バ紫

b た 學 名

D

た

紅縮



此 曾テ予ノ調 揭 ゲ 3 タ 現今我邦 モ ナ 栽 ŋ 植 1 セ w わ た 標 品 據 IJ

印度、 本種 sypium rubicundum Roxb.) トラン 互リテ培養セラル然レ スニモ作ラル又マダ 今日我邦ニテハ更ニ今一種ノわたアリテ處ニョリ培栽 Gossypium\_Nanking Meyen var. rubicunda Warr.(=Gos 地方ニテモ未ダ曾テ其野生品 種花色赤キモノアリ晩種ナリト云フ是レあかばなわた ハ又支那ニ栽植セラレ又マ )ナリ普通ノわた即チ前品ノ一變種 西ヒラマヤ カスカル、 ドモ本種 シア、 ヲ見タルモノアラズ ハ今日ニ至ルマデ何 v アラビア及ビ亞弗利加 中央亞細亞並 ニシテ學名ハ蓋 ピル ニセレ  $\nu$ 

ceum L. 乎此種ハ枝椏綠色ヲ呈シ苞モ亦綠色ニシテ緣齒 ハ其數多シ今しろばなわたノ新和名ヲ之ニ與フ

明治ノ初年頃しーあいらんど、こっとん(Sea Island Cotton) ヲ外國ヨリ我邦ニ輸入シ予ハ當時其種子ヲ得テ之 我鄕里土佐高岡郡佐川町ノ自園ニ試植セシガ秋ニ至テ枝上ニ多數ノ果實ヲ生ゼシト雖ドモ遂ニ開裂スル =

. 異名アリ和名ヲあめりかわた(新稱)ト云フ一年生ノ草本ニシテ毛ナク基部 Gossypium barbadense L. var. maritima WATT. - 18 u Gossypium maritimum ョリ枝ヲ岐チテ上向ス

ンシテ止

タリ此種

ハ其學名ヲ

づら、

駒屋旅館

五

四

葉 テ 鋭尖頭ヲ 般二 闊 大 一葉柄 ナ **≥ ≥**⁄ 綿 テ 3 毛即 ŋ ίĎ 短ク 臟 チ種 形 苞 ヲ ナ 髪ハ長クシテ白色絹光アリ極 卵狀 シ 三乃至五 長橢圓形 片 = 深裂シ裂片開 シ テ數協ア リ花 メテ精 出シ 冠 テ卵 緻 黄色ニ = 狀 シ テ種子ョリ離 長 シ 橢 テ基 圓形 部 ヲ 呈 ٧٠ 紫色ヲ呈 v シ 易 銳 尖 頭 **≥**⁄ ヲ 果 有 實 ス 花 こ 卵 梗 形 ハ 腋

> 生 **≥**⁄

テ **シ** 

## し植 物採 集會 J 消 息

下リ歸途 大正五年 二月二十 日(日曜日)横濱植物會ノ定期採集會ヲ行 一月二十三日(日 就ク本郷村 アノ山地 矅 日)橫濱植 ニすはまさう自生シ 物會 ノ定會ヲ横濱ナル 其花 フ相州大船 ラ開 万. /ヲ見 神奈川 3 コリ今泉 w 縣立第 ヲ 經 テ 中學校出 本 鄉 村 博物室 1 山 地 = = 開 ス ī 鎌倉建 長 寺

ひざくらょ 三月十九 [月十六日 新稱 H (日曜日 (日曜 シ叉 日 Prunus )横濱植物會ノ定期採集會ヲ行フ相州横須 )横濱植物會ノ定期採集會ヲ行フ serrulata LINDI. var. Tokugawana Makino. 相州大磯ニ至リ高 賀

プ山地

=

探

集シ逐ニ

逗子ニ

出デ婦:

途

=

ク

新品

ノ學名ヲ用意ス會員 |麗山ニ採集スさくら

同

地

德 ヲ得

111

侯爵 テけ 就

邸 は

.優待ヲ蒙リ夜ニ入リテ同邸ヲ辭シ歸途

三就

ŋ

F. 五月十四 視 了テ蓴菜沼國 [日(日曜日)東京植物同好會ノ定期採 |府臺ヲ通過シテ眞間 出出 デ市 集會ヲ Ш Ħ リ歸途 行 **フ下總松戸** 就 ク = 到 y 同 地 1 7 葉縣高等 園 藝學 校 = 遠 藝 植

**月二十** おほさぬたさう、 日(土曜日)二十一日(日曜日)横濱植物會ノ 投宿ス翌日大山 やまとぐさ、 = 登り山巓ニ達シテ下山 えびらしだ、 **おほやましろかね**さう、 定期採集會ラ行 シ復タ馬車ヲ 驅 テ平塚 フ 相 쌘 卒 つるきんばい 一還リ歸る 塚 Ħ リ馬 途 車 等 就 ラ賃 ヲ ク 採 Ш Ŀ 大 中 山 = 1 あふぎ 麓 = 達

)六月四日(日曜日)東京植物同好會 ノ定期採集會ヲ行フ東京市外 ノ池袋 Ħ y 膝折 至 N 途 中 ż どり びおうヲ 採

植物採集會ノ消息